あきたのりょういかちと

VOL. 507
2019.11.25

「思い出」

表紙の写真は9月7日（土）に行われた「水土里キッズのわくわく探訪inおが」のスナップ写真の1枚です。今年は「男鹿半島」の農業用水利施設や様々な観光スポットなどを訪れ、男鹿の「歴史」や「文化」に触れながら学習する事が出来ました。「男鹿」には、私達の知らない魅力がまだまだ沢山あり、今回のわくわく探訪で再発見する事が出来ました。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。また来年のわくわく探訪もよろしくお願い致します！

イメージキャラクター
みどりちゃん

CONTENT 1 令和元年度秋田県土地改良事業推進大会

CONTENT 2 第42回全国土地改良大会岐阜大会

目次 CONTENTS

令和元年度秋田県土地改良事業推進大会	2
第42回全国土地改良大会岐阜大会	4
農業農村整備の集い	5
令和元年度「水土里キッズのわくわく探訪inおが」	6
令和元年度第2回水土里の広報委員会を開催	8
第142回秋田県種苗交換会協賛事業「農業農村整備フェア」	9
農地バンク推進大会	10
令和元年度複式簿記導入促進特別研修	10
金足農業高校からのインターンシップ受入	11
大住小3年生による「ネギ収穫」体験の開催	11
相続財産管理人制度の活用支援	12
改正土地改良法関連情報その3（会計指導員が行う土地改良区の指導監査）	14
おらほの自慢っこ「来てけれ！大潟村」（大潟村産業建設課：宮田　雅人）	15
ようこそ土地改良区へ（秋田県南旭川水系土地改良区：照井　元）	16
随想（秋田県仙北平野土地改良区：赤坂　寛己）	17
叙勲（令和元年度秋の叙勲）	17
水土里レポーターによる写真投稿（三種町土地改良区：近藤　貴之）	18
連合会日誌	18
リレー感想文（秋田県土地改良事業団体連合会　管理情報部：寺山　佳奈）	18
会員だより、編集後記	18

令和元年度

秋田県土地改良事業推進大会

農業農村整備事業の予算獲得に向けて

▲挨拶をする髙貝会長

10月31日（木）大館市「ほくしか鹿鳴ホール（大館市民文化会館）」で第142回秋田県種苗交換会の協賛行事として、本会主催による「令和元年度秋田県土地改良事業推進大会」が会員及び関係者など約1,100名のご出席を頂き開催された。

大会では、髙貝久遠会長が「**本県農業が持続的に発展するためには、収益性の高い複合型生産構造の確立が急務であり、ほ場整備と担い手への農地集積、そして高収益作物の産地づくりを三位一体で取り組む『あきた型ほ場整備』を積極的に推進していくことが重要である。本会においては、計画的な事業推進のために、引き続き、当初予算の確保に向けて積極的に要請活動を展開していく**」と挨拶した。

▲成田議長

▲現状報告をする舛谷課長

次に、土地改良功労表彰、土地改良功績者表彰と21世紀土地改良区創造運動表彰が行われ、5団体7個人が表彰された。大館市協賛会長の福原淳嗣市長から歓迎のことばをいただいたあと、御来賓の皆様を代表して秋田県知事（代読：能見智人農林水産部次長）、東北農政局長（代読：小林博行次長）、種苗交換会船木耕太郎会頭などからご祝辞を頂戴した。

また、議事に入ると、北秋田市土地改良区の成田光弘理事長が議長となり、秋田県農林水産部舛谷雅広農地整備課長による「秋田県農業農村整備事業の現状報告」に続いて、大館市二井田真中土地改良区菅原喜博事務局長が大会決議を朗読し満場一致で採択し大会は閉会した。

▲大会決議を読み上げる
菅原事務局長

表彰された団体・個人は次のとおり。

秋田県土地改良功労表彰

【知事表彰】
＜団体＞
秋田市旭川筋土地改良区（理事長　佐藤　　勲）
大仙市大曲土地改良区　（理事長　判田　勝補）
＜個人＞
後 藤 幸 三（前大潟土地改良区理事長）
山 内 幸 雄（北秋田市土地改良区事務局長）
最 上 保 男（湯沢市中央土地改良区事務局長兼総務課長）

▲後藤幸三前理事長

秋田県21世紀土地改良区創造運動表彰

【知事賞】
琴丘土地改良区（水土里ネット琴丘）
　　理事長　伊　藤　重　好
【奨励賞】
北秋田市土地改良区（水土里ネット北秋田市）
　　理事長　成　田　光　弘
三種町浜口土地改良区（水土里ネット浜口）
　　理事長　牧　野　秀　孝

▲伊藤重好理事長

秋田県土地改良事業功績者表彰

【会長表彰】
山　谷　啓　一（二ツ井白神土地改良区副理事長）
畠　山　一　孝（八郎潟土地改良区理事長）
加　藤　末　道（秋田県協和土地改良区副理事長）
佐々木　義　広（大森土地改良区総括監事）

▲畠山一孝理事長

大　会　決　議

一　令和2年度当初予算において、現場の強い要望に十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること

一　農地の大区画化・汎用化と担い手への農地集積・集約化を一層推進するため、農地中間管理機構関連のほ場整備事業について、地域の状況に応じて柔軟に対応できる施策を講ずること

一　労働力不足が深刻化しているなか、大区画における自動操舵や水管理の省力化など、スマート農業の導入により生産性の向上を図るため、その効果を十分に発揮できる基盤整備事業への支援を充実すること

一　農村地域の防災・減災力の強化を図るため、防災重点ため池を中心とした農業水利施設の適切な保全管理と、耐震化対策などの機能強化を計画的、かつ着実に実施するための支援を充実すること

令和元年10月31日
秋田県土地改良事業推進大会

第42回 全国土地改良大会 岐阜大会

清流で未来をうるおす土地改良 ～水土里の恵みを新たな世代へ～

挨拶をする二階俊博全土連会長

祝辞を述べる
進藤金日子参議院議員

10月16日（水）「第42回全国土地改良大会岐阜大会」が岐阜市の岐阜メモリアルセンター（で愛ドーム）で開催され、全国から参加した関係者約4,000名が一同に会し、農業・農村の重要性とそれを支える土地改良事業の価値や役割を広く国民に理解していただくことを再認識した。

式典は、岐阜県土地改良事業団体連合会の藤原勉会長による大会旗入場、開会挨拶に続き、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長が主催者挨拶を行い、「全国各地でおこった台風・大雨による災害の被災者の皆様にお見舞い申し上げるとともに、全国各地から情報を集め迅速に復興・復旧に向けた対応をしていきたい。また、今年度は土地改良予算の大幅確保と、7月の参議院選挙で宮崎雅夫氏が土地改良の代表として当選を果たすなど、土地改良として令和元年の幕開けに相応しいスタートを切ることができた。私たちは今後も『闘う土地改良』の旗印の下、組織一丸となって前に進んで行く必要がある。引き続き、土地改良関係皆さんの一層の支援・協力をお願いしたい」と呼びかけた。

大会宣言を述べる高校生

また、古田肇岐阜県知事、柴橋正直岐阜市長が歓迎のことばを、伊東良孝農林水産副大臣、野田聖子衆議院議員、進藤金日子総務大臣政務官（兼）内閣府大臣政務官、宮崎雅夫参議院議員（全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問）などが祝辞を述べた。

同じく行われた「土地改良事業功績者表彰」では、秋田県関係として本会副会長である田口信一氏（かづの土地改良区理事長）が農村振興局長表彰を、前常務理事の水戸憲光氏が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞した。また、農林水産省の奥田透農村振興局次長による基調講演、岐阜県内の優良事例紹介、岐阜県立恵那農業高等学校の生徒による大会宣言の採択なども行われ、式典の最後には次期開催の群馬県へと大会旗が引き継がれた。

秋田県参加者

なお、第43回全国土地改良大会は、“鶴舞う形　群馬の大地　水土里の未来へ　ここから羽ばたいて”をテーマに、2020年10月14日に群馬県での開催が決定している。

中央：田口理事長
（農村振興局長表彰）

中央：水戸憲光氏
（全土連会長表彰）

土地改良のうた～土光る～
（合唱）

大会旗引継
（中央：髙貝全土連副会長）